

歯っぴいタイムス

No.001

歯っぴいタイムス 第1号
 発行/ (社)厚木歯科医師会
 発行日/平成18年7月15日
 TEL 046(224)6081
 HPアドレス
<http://atsugi-dental.or.jp/>



8月3日
開催!! バリアフリーコンサート
 3年連続「サエラ」を迎えて

みなさん、「サエラ」って
 ご存じですか？

「ハイ、ハイ」と大きな声
 が返ってきそうですね。そう
 なんです。もう、一部の方々
 には熱狂的に受け入れられて
 いるプロの女性ボーカルグルー
 プです。

サエラは「愛のメッセージ



を障害のある人々に」と願っ
 て、3年連続で本拠地青森か
 ら、厚木の文化会館まで、今
 年もはるばるやってくること
 となりました。

このバリアフリーコンサ
 ーは平成16年、厚木市障害者
 歯科診療所開設10周年を迎え
 るにあたり「障害のある方々
 に楽しい音楽を」という目的
 で、厚木歯科医師会が主催し
 たものです。障害者の関連団
 体、施設、教育機関、行政な
 どとタイアップし実行委員会
 をつくり、企画、開催しまし
 た。ボランティアの皆さんと
 の手作りのコンサートです。
 昨年は、昭和音大の学生に
 よる楽器演奏、清流太鼓、ま
 た、東京農大名物「大根おど
 り」なども加わって、会場は



ボランティアの皆さんによる手話コーラス

興奮のるつぽと化しました。

「ぜひまた来年も」との声に
 押されての今回の開催です。

もちろん入場は無料!どな
 たでも大歓迎。

サエラのお二人、ボーカル

バリアフリーコンサート2006
 日時：2006年8月3日(木)
 午後1時40分～
 会場：厚木市文化会館大ホール
 *入場無料
 演奏者：「サエラ」
 ※青森県五所川原市のグループで、Vocal
 菊池由利子、Piano高橋朋子の2名で構成。
 一般講演の他、障害者に対するコンサ
 ートを各地で催している。
 主催：厚木歯科医師会、福祉フォーラム実行委員会
 共催：厚木市、愛川町、清川村
 後援：神奈川県教育委員会、神奈川県厚木児童相談所、
 神奈川県厚木保健福祉事務所、
 厚木医師会、厚木薬剤師会、厚木医療福祉連絡会、
 厚木市・愛川町・清川村教育委員会、
 厚木市・愛川町・清川村社会福祉協議会、
 神奈川新聞厚生文化事業団
 協賛：神奈川心身障害児福祉基金財団、
 横浜YMCA厚木、厚木ライオンズクラブ

の菊池由利子さん、ピアノの
 高橋朋子さんからは「もっと
 もっと障害者のみなさんに楽
 しい音楽の機会を。今年もが
 んばります。期待していてく
 ださい!」と熱いメッセージ
 が届いています。
 今年の子定曲目の一部。
 アメージンググレイス
 おぼろ月夜
 七つの子
 ゆりかごの歌
 歌えバンバン
 津軽のふるさと
 他 多数

歯から始まる健康ライフ

歯の多い高齢者は

体も健康

医療費 9千円 も少なく

***歯が多い老人ほど元気！**

80歳になっても20本以上の歯を残すことを目標とする8000運動を「ご存じですか？」一生自分の歯で食べようという運動です。

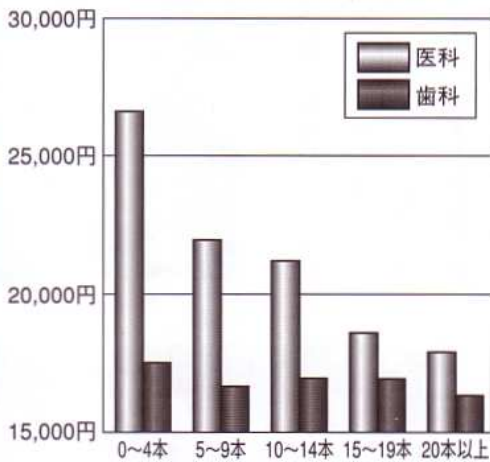
兵庫県の国保団体連合会といて、健康保険の支払いを統括する団体が70歳以上の方を対象に、残っている歯の本数が医科の医療費と歯科の医療費にどう影響するかを調べました。

その結果を下のグラフに示します。歯が残っている本数が少なければ少ないほど、医科でかかる医療費が多くなっています。つまり、歯を大切にしている人ほど健康であることが伺えます。

***歯を守って医療費節約！**

70歳以上で歯が20本以上残っている方の歯科以外にかかる医療費は、歯が4本以下の人と比較して平均でおよそ九千円も少ないことがわかります。一方、歯の治療費自体は歯の数に関係なく、あまり差はありません。

歯数と医科・歯科の各医療費の比較



グラフは「兵庫県国保連合会所有データ」をもとに、兵庫県歯科医師会が医科と歯科にかかった平成16年5月分医療費を比較したものを参考に作成しました。

***歯の病気が身体の病気を**
最近では様々な研究から、歯がなくなることによる「噛む」力の衰えが、精神や身体に悪影響を及ぼすことがわかってきました。つまり、歯がそろっている人の方がボケにくくといわれているのです。

また、歯周炎など口の中の病気が、心臓血液疾患・誤嚥性肺炎・糖尿病などにかかわりがあり、全身の健康を脅かすことも明らかになってきています。

***大切なプロケアー**

歯の寿命を長く保つには、セルフケアによるお手入れとして、歯磨きやデンタルフロス・歯間ブラシなどによる歯垢の除去・清掃が、予防の上で大切です。

ただ、気をつけなければいけないこととして、歯科の大疾患である「う蝕」と「歯周疾患」はよほどひどくならないと、自覚症状がでない、という点が挙げられます。

そのため、歯科疾患の早期発見、早期治療をするためには、プロケアーとして、年に2回くらい歯石の除去を兼ねて、かかりつけの歯科医院に行くことを心掛けましょう。痛くないから大丈夫と思っていると、手遅れになってしまいうこともあります。



厚木市障害者歯科診療所

摂食・嚥下機能発達支援診療科のご紹介

■開設の流れ

厚木市障害者歯科診療所は平成7年の開設以来、10年以上にわたって、厚木市、愛川町、清川村の3市町村を中心に、行政の積極的な協力を得て地域の二次診療所として、診療を行ってまいりましたが、この度、県下の障害者歯科診療所では初めての試みとして、昭和大学歯学部口腔衛生学教室の向井美恵教授よりご支援をいただき、本年4月から、摂食・嚥下機能発達支援診療科を開設する運びとなりました。



■診療科の内容

まだ、あまりなじみのない名称と思われませんが、身体障害児の約半数は摂食・嚥下機能に障害を持つと言われております。このような障害児でも重度の場合を除き母乳を飲むことはできませんが、離乳時期に、適切な指導が行われないと、正常でない摂食機能を獲得してしまい、咀嚼・嚥下もうまくできずに、むせや誤嚥などの嚥下障害を生じてしまいます。

このため障害児の場合、母乳の嚥下がうまくできても、成長発達にあった離乳のすすめ方が健常児以上に必要とされます。この時期に姿勢、食形態、介助の方法を保護者の方に指導することで、かなりの頻度でむせや誤嚥を防ぐことが可能となります。

これが今回、障害者歯科で行われる事になった摂食機能療法です。

■運営について

4月から月1回の診療を10時～1時30分まで行います。詳細な日程は電話にて厚木歯科医師会事務局(22416081)までお問い合わせください。

なお、障害者歯科診療所の診療日は毎週火、木曜日、診療時間は1時30分～5時となっております。鶴見大学歯学部への障害者歯科診療科より協力

✿ 歯のトリビア ✿

【ナポレオンの歯】266万円!!で落札



歯痛に苦しんだフランス皇帝、ナポレオン1世(1769～1821)から抜いたとされる歯が、昨年11月、ロンドンで競売に掛けられ、なんと266万円で落札されました。当初は160万円程度と見積もられていましたが意外にもヒートアップし、イギリスのコレクターが落札しました。

ナポレオンは1815年にワーテルローの戦いで敗れた後、セントヘレナ島に幽閉されましたが、当時壊血病を患っていたといわれており、主治医のバリー・オメーラが抜歯したもののみられています。この歯は上顎右側の犬歯で、当時のナポリ王の副官マセロニに渡り、代々その子孫に受け継がれていたということです。



をいただき静脈内鎮静法による治療も行っております。



「歯の衛生週間行事」 高齢者よい歯のコンクール 喜びの受賞者の皆さん

さらに内容充実で好評

6月4日(日)厚木歯科医師会主催による歯の衛生週間行事が、厚木市保健センターで行われました。会場には例年のように無料歯科健診、矯正相談、刷掃指導、位相差顕微鏡(口の中の各種細菌の動きが見える顕微鏡)に加えて、今年から口腔内写真のコーナーが新設され、より充実したものになり好評でした。また、RDテスト(ムシ歯菌の数を調べるパッチテスト)で口の中の衛生状態を確認してもらって一喜一憂



厚木歯科医師会会長と川上春海さん

する姿が見られました。

よい歯のコンクール結果

午後2時から今回で14回目となる「高齢者よい歯のコンクール」の表彰が行われました。今年から対象年齢を70歳以上から75歳以上に引き上げました。それにもかかわらず、厚木市25名、愛川町2名、清川村1名、計28名もの応募がありました。

厚木市長賞に古澤壽四郎さん、愛川町長賞に竹見房二さん、清川村長賞に郡山純久さん、厚木歯科医師会会長賞に

横井愛子さん、特別賞に川上春海さんが選ばれ、各受賞者に表彰状と記念品が贈呈されました。また、惜しくも選ばれた方々には参加賞が贈呈されました。

受賞者からアドバイス

受賞者を代表して川上晴海さん(92歳)に「歯を長持ちさせる秘訣」についてお尋ねしたところ、「固いものをよく噛んで食べるのが好きですが、甘いものはあまり食べません。歯磨きは食後、2、3分普通のブラシで磨いた後、歯間ブラシを使っています。身の回りのことはほとんど自分でできますし、よく歩くようにしています。タバコは85歳まで、1日1箱吸っていましたが今はやめてよかったです。今までは歯の痛さを感じます。今までは歯の痛さを感じないのですが、自分ではわからないのでかかりつけの歯科医院で年に2回定期健診

を受けています。28本の歯でしっかり噛めることのありがたさを実感しています」と話してくださいました。

噛めば噛むほどボケ防止

清川村の民生部部长が、「歯でしっかり噛むことで、脳への血流量が多くなり、ボケの予防につながる」と挨拶の中で述べていらっしゃいました。川上さんも、脳のMRI所見では全く異常が見られないそうです。皆様も歯を大切に、イキイキとした生活を送りましょう。

健診風景

